

平成28年度 事業活動報告

1 事業の成果

28年度、当NPO法人は、「行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業」として、東海村より受託した住民原子力懇談会開催業務により、2自治会の住民と、村、原子力事業所、国との懇談会の実施支援を行った。また、東海村より受託した「社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託」において、「地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業」の対象研究の選定、推進支援、成果報告企画を行うとともに、児童参加型エネルギー学習ワークショップや大人向けサイエンス講座を企画・実施した。関連して TOKAI 原子力サイエンスフォーラムの企画と実施支援も行った。

「安全及び環境の保全に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業」として、東海村が策定中の東海村広域避難計画案に関する住民意識調査を行い、その結果を踏まえ、村に対する提言をまとめた。

「科学技術リスクに係るリテラシー養成事業」では、東海村広域避難計画案に関する説明会を企画し、中央公民館において会員以外を含む住民への情報提供機会をつくった。

「リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業」では、上述した東海村広域避難計画案に対する意識調査結果と提言をまとめた広報誌を発行するとともに、ホームページでの情報発信を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業	東海村住民原子力懇談会開催業務	28/09/27 29/02/22	東海村	2名 2名	東海村住民26名、村、国、J-PARC 東海村住民13名、村、国、J-PARC	222
	社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり推進業務委託	28/04/01 ～ 29/03/31	東海村	1名	東海村および周辺市町村の住民	1,631
安全及び環境の保全に係わる施設・活動の視察および改善提言の事業	東海村広域避難計画案に関する住民意識調査の実施と提言とまとめ	29/01/25 ～ 29/03/23	東海村	10名	東海村および全国の関心者	18
科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業	東海村広域避難計画案に関する説明会	28/10/05	東海村	10名	東海村及び周辺市町村の関心者	0
リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業	ウェブサイトの運用	28/04～ 29/03	千葉県	1名	全国の関心者	13
	広報誌の発行	29/03/23	東海村	10名	東海村および周辺市町村住民、全国の関心者	192

3 事業の詳細

(1)行政・企業・市民間のリスクコミュニケーション活動の支援事業

●東海村より受託した「住民原子力懇談会開催業務」において、石神外宿一区および白方区の自治会役員を中心に、住民、村、原子力事業者との懇談会をそれぞれ行い、実施概要をまとめた資料を作成するとともに、年度末には村へ実施報告を行った。

第1回懇談会：平成28年9月27日実施（石神外宿一区／日本原子力研究開発機構 J-PARC）

第2回懇談会：平成29年2月22日実施（白方区／日本原子力研究開発機構 J-PARC）

●東海村より受託した「社会科学の拠点づくりとオープンな議論の場づくり委託業務」において、「地域社会と原子力に関する社会科学研究支援事業」のための選考委員会を設置し、支援対象研究を決定するとともに、大学との契約手続き、12月の進捗報告会の実施、2月の成果報告会の企画立案を行った。平成28年7月23日にはNPO法人いわきおてんとSUN組合の協力を得て、小学5～6年生23名を対象にエネルギー学習と手作りソーラーパネル製作ワークショップを行い、翌24日の環境フェスタで自然エネルギー利用の展示を行った。9月～10月には、J-PARCセンターの協力を得て、大人向けサイエンス講座を企画・実施した。関連してTOKAI原子力サイエンスフォーラムの企画を行い、平成29年2月26日にフォーラムを実施した。以上の活動と課題をまとめた実施報告書を村へ提出した。

(2)科学技術リスクに係わるリテラシー養成事業

平成28年10月5日、東海村防災原子力安全課の協力を得て、東海村広域避難計画案に関する説明会を中央公民館にて開催し、東海村や周辺市町より会員を含めて19名の住民の参加があり、活発な質疑応答が行われた。

(3)安全及び環境の保身に係わる施設・活動の市民による視察および改善提言の事業

平成28年5月に村が実施した広域避難計画の意見交換会への参加人数が少なかったことを受け、住民の意識調査をすべきとの意見から、平成29年1月下旬から2月末まで住民意識調査を行い、その結果をふまえて、村への提言をまとめた。

(4)リスクコミュニケーション活動に係わる広報啓発事業

上述した東海村広域避難計画案に対する住民意識調査の結果と村への提言を広報誌「しーきゅうぶ東海村」第19号にまとめ、発行した（29年3月23日）。また、例年通り、ホームページを用いて、広く情報提供を行った。

(5)その他

<理事会>

第14回 28年5月21日 東海村産業・情報プラザ 1階 会議室

平成27年度事業報告、決算報告、平成28年度事業計画、予算案、定款変更について説明し、今後の活動計画について議論した。理事会終了後、引き続き総会を行った。

NPO法人HSEリスク・シーキューブ 平成28年度 活動記録

28年度	行政・企業・市民間の リスクコミュニケーション活動の支援事業	安全及び環境の保全に係 わる施設・活動の視察およ び改善提言の事業	科学技術リスクに係 わるリテラシー養成 事業	リスクコミュニケーション活動に係わる 広報啓発事業
4月	東海村より住民原子力 懇談会開催業務を受 託 研究公募を開始			HPの運用継続
5月	選考委員会で採択研究 を決定			
6月	研究支援事業に関して 東京電機大学と契約			
7月	企画：手作りソーラー ワークショップ 環境フェスタで情報発 信			
8月				
9月	27日 第1回住民原子 力懇談会を実施			
10月			5日 東海村広域避難 計画案に関する説 明会を実施	
11月				
12月	12日 進捗報告会を 実施（企画運営委員 会を同時開催）			
1月		東海村広域避難計画案に 関する住民意識調査 を実施		
2月	22日 第2回住民原子 力懇談会を実施 26日 TOKAI 原子力 サイエンスフォーラ ム実施（企画）	↓		
3月	受託事業報告書を村へ 提出 東海村よりまちづくり に関する事業を受 託・契約	東海村への提言をまとめ る		23日 広報誌第19 号発行 ↓

以上のほか、会員有志による活動として以下を行った。

平成28年9月25日 六ヶ所村読書愛好会との懇談

平成28年12月21～25日 幌延深地層研究所見学（日本原子力文化財団の支援事業を活用）